



てき丸君News 第35号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811

FAX 03-3224-0820

http://www.zensanpairen.or.jp

第32回理事会・平成29年賀詞交歓会を開催

国産業廃棄物



ご来賓として挨拶される山本環境大臣

当連合会は、第32回理事会及び平成29年賀詞交歓会を1月13日に東京都港区元赤坂の明治記念館にて開催しました。賀詞交歓会には、環境省等の関係省庁及び関係団体のご来賓をはじめ、都道府県協会、当連合会賛助会員等の大勢の皆様にご来場いただきました。

まず、賀詞交歓会の開催前に行った理事会では、①平成29年度連合会事業計画骨子案、②全国産業廃棄物連合会の名称変更、③平成28年度の産業廃棄物適正処理推進センター基金への出えん金について、などが協議されたほか、廃棄物処理法の見直しに係る中央環境審議会の動向や低炭素社会実行計画の2030年度目標、委員会・部会の活動状況等が報告されました。

また、理事会終了後の賀詞交歓会は、総勢約230名の皆様にご来場いただき盛大に開催することができました。

開会の冒頭は当連合会の石井会長が挨拶し、続いてご来賓を代表して山本環境大臣にご挨拶いただき、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの岡澤理事長の音頭により乾杯しました。最後は、連合会の越生副会長（一般社団法人鳥取県産業廃棄物協会会長）による中締めで散会しました。



賀詞交歓会で挨拶する石井会長

(総務部・古川)

全国産業廃棄物連合会政治連盟 第42回理事会開催

全国産業廃棄物連合会政治連盟は、第42回理事会を去る1月13日に明治記念館で開催しました。

國中政治連盟理事長より「昨年1年かけて廃棄物処理法等制度の見直し検討がされたが、今年は連合会が提案した意見の実現を図っていく年である。また、建設廃棄物から作られる再生砕石や建設汚泥再生品の活用拡大の推進等について、産業・資源循環議員連盟のお力添えをいただきながら、着実に実を結ぶように取り組んでいきたい」と挨拶がありました。また、石井連合会会長より「2017年の干支、丁酉は植物が成長し成熟が極限に達しているとの意味がある。今年は廃棄物処理法等の改正の枠組みができる。また、タスクフォース2や人材育成及び労働安全の取り組みなどあらゆる面において連合会は一つ一つ実行をしていく年である。」と挨拶がありました。

主な議題は、2月24日に開催される全国産業廃棄物連合会政治連盟第15回代議員会の提出議案書案を中心に議論されました。議題は次の通りです。

議題：①平成28年政治連盟活動報告案と決算報告案、平成29年政治連盟活動計画案と予算案 ②廃棄物処理法等の見直しの状況 ③タスクフォース2の検討状況 ④平成29年度予算税制等要望事項（自民党、公明党） ⑤平成28年度産業・資源循環議員連盟総会開催報告

(政治連盟事務局長・土井)

官公庁関係ニュース

●廃棄物処理制度専門委員会が循環型社会部会に報告●

廃棄物処理法に係る制度の見直しを検討している中央環境審議会廃棄物処理制度専門委員会は、1月30日に開催した第8回専門委員会において「廃棄物処理制度専門委員会報告書」を取りまとめ、2月3日の中央環境審議会循環型社会部会に報告しました。同報告書は、近く環境大臣に意見具申される見込みです。

循環型社会部会では、同専門委員会報告書のほか、バーゼル法の見直しに関する意見具申（「特定有害廃棄物等の輸出入等の規制の在り方を見直しの方向性」）も審議され了承されました。

<http://www.env.go.jp/press/103534.html>

委員会便り

●安全衛生委員会●

平成28年度第3回安全衛生委員会を1月25日に開催しました。

議題は「副委員長を選任」、「各委員の所属地域における平成28年の労働災害発生状況」、「安全衛生活動の現状調査結果」、「正会員における平成29年度労働災害防止計画」、「平成29年度の事業方針（案）」でした。

各協会から提出頂いた労働災害防止計画をもとに、本計画における各協会の取り組みを支援するため、連合会として実施するべき平成29年度事業計画について審議いただきました。（調査部・戒能）

●INDUST 2月号特集

「センシング・人工知能・ロボティクスと廃棄物～2つの“循環型社会”～」●

産業界が第4次産業革命の訪れに期待を掛ける。センシング機器が発達し、インターネットとモノの連携、いわゆるIoT化が全社会的に加速しております。

それら情報化社会の展開を通じて生み出されるビッグデータの分析と活用に、人工知能の高度化が寄与しています。そうして、現実世界に還元され、適用された意味のある情報が、いまや、あらゆる産業活動や市民生活、社会インフラに対して、再合理化を要請しています。

「人工知能が仕事を奪う」…？ では、産業廃棄物処理業界は…？ さらなる将来、社会はロボティクスによる自動化と、自動化された社会それ自身の情報化・合理化——つまり、もう一つの“循環型社会”とも呼べる「データ駆動型社会」が訪れるとも言われるが、その産業廃棄物処理業における真価とはいったい？（事業部・東方）

- 主な行事予定 - (2月14日～3月22日)

【2月】

- 14日 第2回混合廃棄物分科会
- 16日 第8回青年部協議会幹事会
- 17日 第3回処分場早期安定化分科会
- 20日 第2回総務倫理委員会
- 23日 人材育成方策調査検討結果報告会
- 24日 全国正会員会長・理事長会議（東京）
産業廃棄物処理実務者研修会（東京）
- 28日 第1回教育研修委員会

【3月】

- 2日 第2回中間処理部会運営委員会
- 4日 第10回青年部協議会全国大会（宮城県）
- 7日 第1回建設廃棄物部会運営委員会
- 9日 第2回医療廃棄物部会運営委員会
- 13日 第3回人材育成方策調査検討会
- 14日 第33回理事会
- 21日 第6回タスクフォース2会合
- 22日 第9回青年部協議会幹事会

